

平成24年4月29日
今週のベストショット



青松園A 三苦三球会 対 雁ノ巣ライナーズ

新人ライナーズ樽野投手に簡単には勝ちをくれてやらない三球会堺和彦選手。

(写真：三友クラブ 八尋豊)

青松園A

三苦三球会	(1勝2分)	00010	1	吉留△-藤澤
雁の巣ライナーズ	(2勝1分)	01000	1	樽野△-奥原

HR、3BH、2BH：なし

三球会吉留投手とライナーズ樽野投手が投げ合う試合展開となった。初回は両投手ともランナーを出す、後続を抑え順調な滑り出し。二回裏ライナーズは奥原選手が内野安打で出塁するとエラーとWPで二三塁とすると、7番中口選手のセンター犠牲フライで1点を先制。三回は両チームともランナーを出す、両投手が共に4番を内野ゴロに打ち取り0点とする。そして逆転を狙う三球会は四回表、先頭打者の堺和彦選手が出塁すると、二死三塁から吉留投手自身がセンター前に弾き返し同点とする。その後五回は両投手が踏ん張って0点に抑え、時間切れ引き分けとなった。両投手が要所を抑え、打線も数少ないチャンスに点を取るという、引き締まったいい試合だった。(記事：三友クラブ 駄原孝一郎 写真：八尋豊)



要所を締めるピッチングをした三球会吉留選手。



安定したピッチングを披露したライナーズ樽野選手。



一回裏、セーフティバンドを決めたライナーズ池内選手。



二回裏、先制犠牲フライを打ったライナーズ中口選手。



三回裏、樽野選手の打球が渡辺遊撃手の頭を越える。



四回表、同点のきっかけ作り三球会塚和彦選手。

青松園B

新町ウインズ (2敗1分) 1 0 0 1 0 1 3 城戸●-今林

奈多サンデーズ (3勝0敗) 0 1 3 0 3 × 7 江口○、塚本、田中-荒口

HR: 野々下、田中 (奈多サ)、 **2BH**: 野田 (新町ウ) 田中 (奈多サ)

一回表ウインズは、立上がり苦しむ奈多サンデーズ江口投手から3番今林孝智選手の右前、4番野田選手の右越え二塁打で先制。その裏サンデーズは、ウインズ先発の城戸投手に三者凡退に抑えられるが、二回裏サンデーズ5番野々下選手の右越えソロが飛び出し同点に追いつく。その後、守りが安定したサンデーズは三回裏、ランナー2人を置いて3番田中選手が開幕から三試合連続弾となる第3号逆転3ラン。そして五回裏にもランナー2人を置いて再び田中選手が右中間二塁打を放ち、中継の乱れが重なりダメ押しとなる3点が入った。ウインズも四球やヒットを絡めチャンスメイクするが、サンデーズ江口→塚本→田中の必勝投手リレーに攻撃を封じられた。(記事、写真: レッドサンデーズ 古賀進一)



一回表、ウインズ桐島選手をタッチアウト壱岐遊撃手。



一回表二死から先制タイムリーを放つウインズ4番野田選手。



初先発ながら好投したウインズ城戸投手。



反撃の狼煙となる同点HRを放ったサンデーズ野々下選手。



三回裏、三試合連続となる逆転3ランが炸裂！
サンデーズ田中俊弘選手。



痛そうなデットボールを受けながらも元気に
全力疾走で一塁へ走った今林捕手。



必勝リレーに入ったサンデーズ二番手の塚本投手登場。



打てばHR、クローザーでも登場サンデーズ田中選手。

雁レク6番球場

奈多フェニックス (3勝0敗)	20001	3	池見○ー実延 (新)
新町パイレーツ (1勝2敗)	00200	2	吉田●ー桐島

3BH : 実延 (彰) 西藤 (奈多フ) **2BH** : 白岩 (新町パ)

一回表フェニックスは、二死二三塁から5番実延新伍選手がファールで粘った8球目を左翼前に2点タイムリーを放ち先制。パイレーツもその裏、エラーと四球で一死満塁と池見投手の立ち上りを攻めるも後続を打ち取られ無得点。二回はそれぞれ走者を出す両守備陣が併殺を成立させ無得点。反撃したいパイレーツは三回裏、先頭の2番升井選手の内野安打と3番白岩選手の右翼線二塁打で無死二三塁として、4番桐島選手の内野ゴロの間にまず1点を奪うと、5番吉田選手の左前適時打で同点。更に無死満塁とするもフェニックス池見投

手意地の投球で同点止まり。最終五回フェニックスはこの日2三振と当たりの無かった一番今林勇太選手のセーフティーバントが送球ミスを誘い二塁へ。続く2番西藤選手の内野ゴロの間に一気に本塁を陥れ勝ち越し。1点を追うパイレーツは一死一二塁として前打席にチャンスで凡打に打ち取られた7番田中選手の鋭い打球が三塁線を襲うが、西藤三塁手が横っ飛びで好捕。飛び出した走者を落ち着いて刺し、二つ目の併殺で試合終了。とても締った好ゲームでした。フェニックス池見投手曰く、「荒れた投球だったが、攻守に活躍した西藤君に助けられました。感謝（^^）」（記事：ホーネッツ 堺徹生、写真：松尾卓）



息詰まる熱戦の火蓋が両監督の握手で切って落とされる。



一回表先制タイムリーを放つフェニックス実延新伍選手。



パイレーツ田中新一選手の当たりもフェニックス西藤三塁手に好捕されゲームセット。



勝利の立役者、フェニックス西藤圭介選手。

奈多グラウンド

三苦フレンズ (0勝3敗) 100000 1 井上、塔本●一溝ノ上
 ソルトベイスターズ (2勝1敗) 14002X 7 鶴野○一酒井

HR: 鶴野 (ソルト) **3BH:** 坂本 (ソルト) **2BH:** 鶴野 (ソルト)

初回、先攻のフレンズは2番場先選手が安打で出塁すると、すかさず二盗と敵失に乗じて幸先良く1点を先制するが、ソルトベイスターズも同様に2番中村(祐)選手が安打で出塁すると二盗、3番中村(耕)選手のバント安打の間に好走塁を見せ一気に本塁突入し同点に追いつく。ソルトは二回も先頭の5番鶴野選手が二塁打を放ち、確実に犠打で進めた後に7番坂本選手の三塁打で加点する。この後も敵失で4点を追加し、試合の流れを引き寄せる。フレンズも3本のバント安打等で反撃を試みるが、ソルト鶴野投手のキレのあるストレートの前に決定打を放つことができない。フレンズ塔本投手も二回以外はソルト打線を抑えていたが、疲労が見え始めた五回、ついにソルト5番の鶴野選手に2点本塁打を浴び勝負が決まった。ソルト鶴野投手が投打にわたりキレのある動きを見せ、Man of the Match の活躍だった。

(記事：塩浜ジャガーズ高嶺信彦、写真 松下照夫)



快晴のなか、爽やかにプレイボール。



初回、1点を失ったバッテリーに声をかけるソルト内野陣。



二回裏、無死二塁で犠打を警戒するフレンズ内野陣。



本塁打を放ちチームに迎えられる鶴野選手(背番号8)



2安打を放ったソルトベ이스ターズの4番田中(広)選手。

第4週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

GWは如何過ごされたでしょうか？

第4週はそんなGWのさなか4月29日に4試合が行われました。

青松園Aの三球会对ライナーズ戦は、三球会渡辺航一郎選手&堺達也選手の今年復帰組対ライナーズ新人樽野投手の対決でした。昨年準優勝の三球会は吉留投手の好投とタイムリーもあり、1-1の引き分けに。実力者チーム同士の対戦だっただけに、決着は付きませんでした。懐かしい顔ぶれの活躍も今後期待ですね。

青松園Bのウインズ対サンデーズ戦は、ウインズが先制し、初先発の城戸投手も上々の立ち上がりでしたが、サンデーズは3番田中俊弘選手、5番野々下選手の長打で一気に勝負を付けました。サンデーズは毎試合2本

ずつHRが出ています。田中選手は早くも3試合で3HR9打点と今年も2冠の最有力候補に。城戸投手が奪った初三振は、同級生の私4番八島からでした。おめでとうございます。

雁レク6のフェニックス対パイレーツ戦は、パイレーツの再三の猛攻を凌いだフェニックスが辛くも3-2でパイレーツを振り切りました。あ、パイレーツの田中和白リーグ会長は一人で2回も併殺打を打ってますね。この2つの併殺と打撃両面で活躍したフェニックス西藤三塁手のフレッシュな活躍が光りました。

奈多グラウンドのフレンズ対ソルト戦は、同点に追いついたソルトがすぐさま逆転、勝ち越し点を奪い、7-1でソルトの勝利。鶴野投手は打ってもHRと二塁打、投げて完投勝利と活躍。

さて、5月に入りGWもあつと言う間に過ぎ去りました。ソフトボールの熱い夏はすぐそこです。

5月13日は、奈多・三苦校区壮年ソフトボール大会のため、2試合だけです。

会場	一塁側		三塁側	審判
雁レク7	三友クラブ	対	新町パイレーツ	新町ウインズ
雁レク8	ソルトベ이스ターズ	対	塩浜ジャガーズ	フレンズ・ホーネッツ

(支払い)

2試合しかありませんが、GW明けの5月病を吹き払う勢いで戦ってください。

フレンズとホーネッツの編集委員さんは、話し合っって写真とレポートを早めをお願いします。

ウインズさんはいつも早いですね(>v<)b